

インドネシア政府から発出された電子カルテに関する新法令の概要

■ 新法令の概要

- 2022年9月にインドネシア政府から「全医療機関が2023年末までに電子カルテを導入すること」との新法令が発表された。

(PERATURAN MENTERI KESEHATAN REPUBLIK INDONESIA NOMOR 24 TAHUN 2022 TENTANG REKAM MEDIS)

- 同新法令においては、電子カルテに以下の情報を入力できるようにするなどのルールが明記されている。
 - 氏名/生年月日/住所
 - 性別（男性・女性に加えてunknownという記載も）
 - 16桁の国民ID
 - 支払い方法（BPJS・患者負担・他の保険）
 - 婚姻の有無/信仰している宗教
 - 電話番号 など
- これらに加えて、以下のルールが明記。
 - インドネシア国内のサーバーを使用すること。
 - 「保健省が管理するデータ統合PF」との接続など
- 前記PFは、別途インドネシア政府（保健省）が開発している医療DB「SATUSEHAT」と推測され、本DBとの接続が義務化されていく方向と考えている。

■ SATUSEHAT（政府医療DB）と電子カルテの関係

- 以下のスキームになると想定される。

